

## 編集後記

今年二〇一五年は戦後七十年、戦争やその後の時代を振り返る企画が多数ありました。

立教大学、豊島区、東京芸術劇場は、「池袋自由文化都市プロジェクト」として、「戦後池袋 ヤミ市から自由文化都市へ」と題したイベントを開催します。九月に予定されているこのイベントについては、次号で詳しくお伝えできると思います。

今号には、この企画に関連して、二つの論文を掲載しました。古田土紗季氏「巨大ターミナル池袋の変遷とゆくえ」は明治から現代まで、池袋駅周辺の変化を描いたものです。後藤隆基氏「戦後池袋演劇史―アバンギャルドと池袋文化劇場」は、戦後しばらくして現れた、東口、西口それぞれの、特色を持った舞台芸術について書かれたものです。

そして、江戸川乱歩の「貼雑年譜」第三巻の書簡を掲載しました。昭和二十年四月十三日の大空襲で、池袋は甚大な被害を受けました。その日の様子や、その

後について、乱歩が疎開先の母と妻に報告した手紙です。「貼雑年譜」の第三巻以降については、展示会場でも紹介できる予定です。

(落合)